

休日の人の動き

◎第4回京阪神都市圏パーソントリップ調査では、平日調査とあわせて休日調査も行っています。

休日調査は、平日調査を行った一部の世帯について平日・休日の双方の調査を行う形で実施されました。休日調査のサンプル数は平日の約1/10となっています。

ここでは、休日調査から得られた結果について取りまとめています。

(1) 休日の目的別発生量、集中量

■休日における自由目的の流入が多い

京都市における休日の地域別の発生量、集中量の目的構成をみると、京都市では**自由目的の割合が5割以上**と他の目的と比べて**非常に高い**ことが分かります。

都心部では、自由目的において発生より集中する割合が高くなっています。

このことから、**休日においては、他の地域から都心部へ自由目的で流入する傾向**にあることが分かります。

(図9参照) (図31)

(2) 休日の代表交通手段別発生集中量

■休日では平日と比べて自動車利用が多い

京都市における休日の地域別の発生集中量の手段構成をみると、いずれの地域においても**平日と比べて、自動車の利用割合は高くなっています**。

(図13参照)

特に都心部以外の地域では、自動車の利用割合が4割以上となっています。

都心部においては、平日と同様に他の地域に比べて鉄道の利用割合が高くなっています。(図32)

図31 京都市における休日の発生量、集中量の目的構成(平成12年)

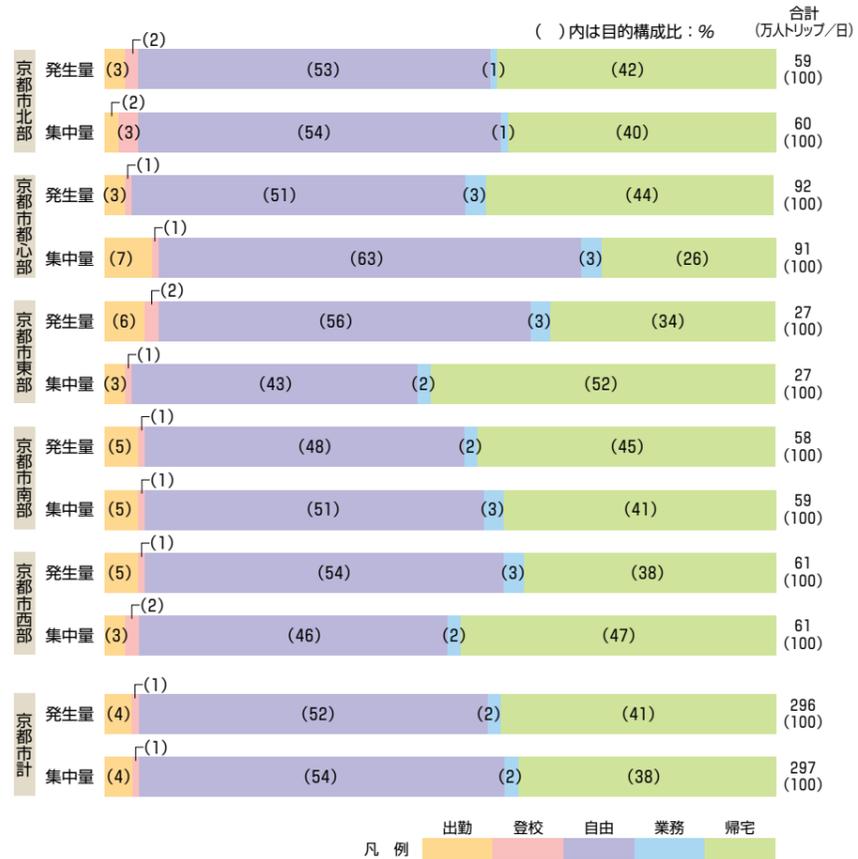


図32 京都市における休日の発生集中量の手段構成(平成12年)

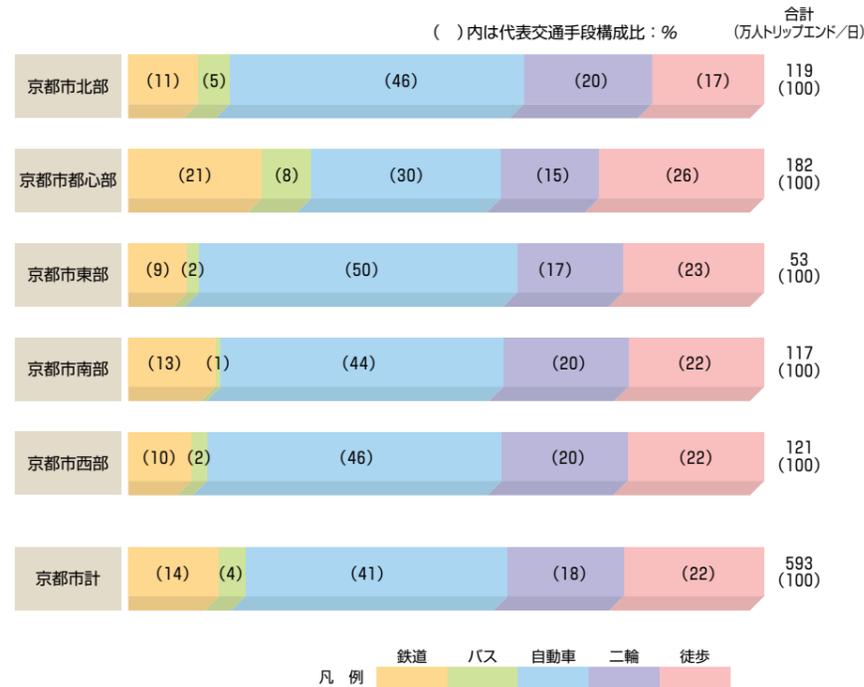
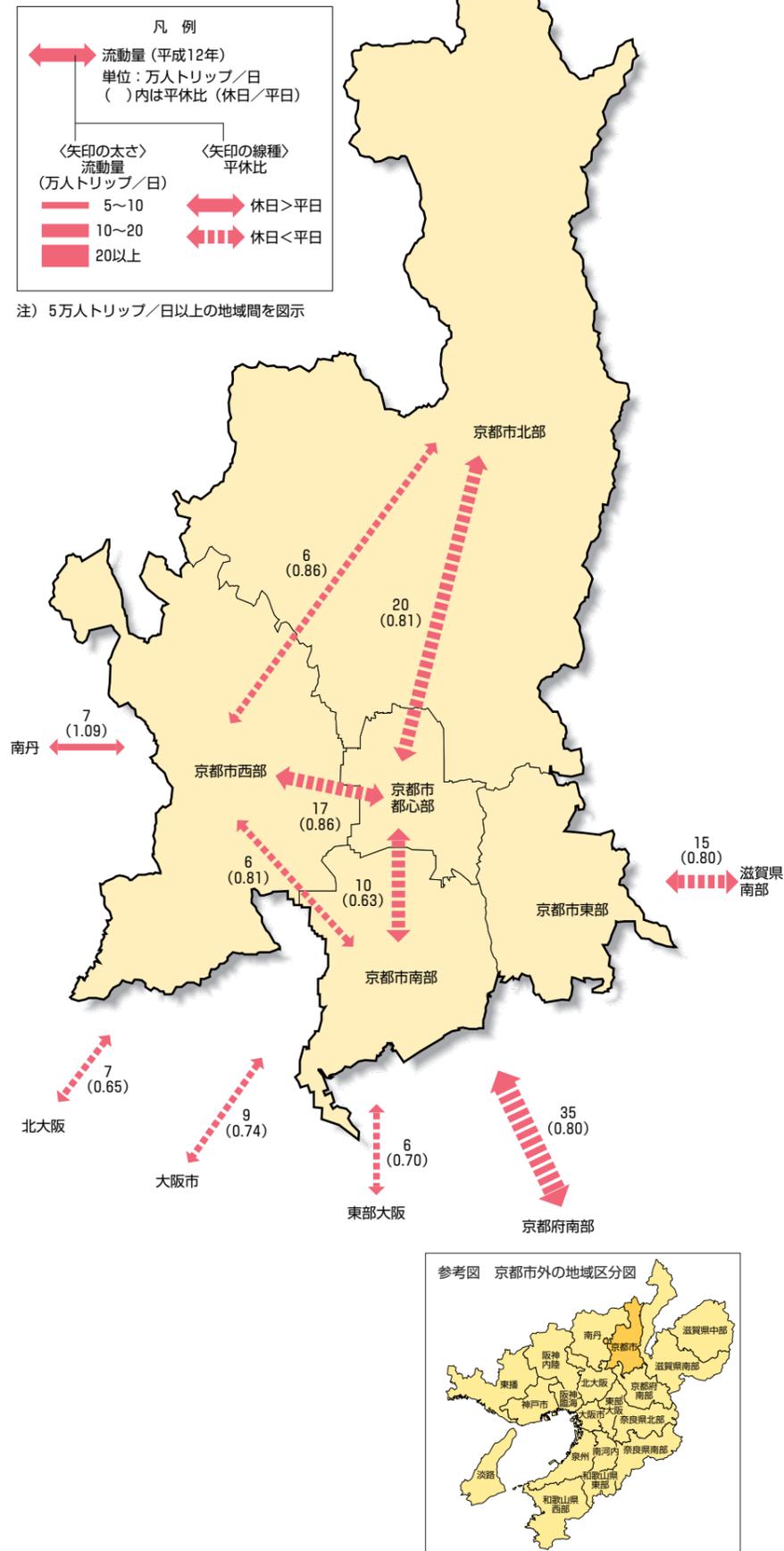


図33 京都市における休日の地域間の人の動き(平成12年)



(3) 休日の地域間の人動き

■休日でも、都心部を中心とした人の動きが多い

京都市における休日の地域間の人動きをみると、**都心部を中心として、人の移動が行われている**ことが分かります。

また京都市全体と他の地域の間の人動きをみると、**京都府南部や滋賀県南部との間の移動が多くなっています**。

各地域間の流動量を平日と比較すると、**多くの地域間で平日より少なくなっている**ことが分かります。(図33)